

授業科目名 <英訳>	健康情報学 I Health informatics I	担当者所属・ 職名・氏名	医学研究科 教授 中山 健夫
			医学研究科 講師 高橋 由光
			非常勤講師 宮崎 貴久子
			岡山大学大学院 教授 津田 敏秀
			大東文化大学 教授 杉森 裕樹
			東京有明医療大学 特任教授 津谷 喜一郎
			日本MBTI協会 代表 園田 由紀
			NPO法人日本インターネット医療協議会 理事 三谷 博明
			国立がん研究センターがん対策情報センター センター長 若尾 文彦

配当 学年	専門職	単位数	2	開講年度・ 開講期	2016・ 後期	曜時限	金2	授業 形態	講義	使用 言語	日本語及び英語
----------	-----	-----	---	--------------	-------------	-----	----	----------	----	----------	---------

[授業の概要・目的]

健康・医療情報、データや知識の収集、蓄積、伝達、検索、評価法、情報リテラシー、ヘルス・コミュニケーション（リスクコミュニケーション含む）、個人情報保護などの情報倫理の課題について講義する。疫学やEBMを基本として、医学文献からマスメディア、インターネットによる健康情報まで、さまざまな情報の特徴を知り、それらを主体的、効果的に活用する方法を考える。インターネットによる健康情報の評価に関しては、NPO法人日本インターネット医療協議会によるeヘルス倫理コードversion 2を利用して実際のウェブサイトの評価・作成の手法を学ぶ。さらに欧米の医療関係者に関心の高い性格テスト・MBTI(Myers-Briggs Type Indicator)のワークショップを通して、個人の情報処理・認知の特性とコミュニケーションに関して体験的理解を深める。

教育・学習方法
講義形式と実習

[到達目標]

- ・疫学・EBMの知識を応用して、各種の健康・医療情報を適切に活用できる。
- ・マスメディア情報、インターネット情報を収集し、適正な吟味を行った上で意思決定、問題解決、そしてコミュニケーションの素材とすることができる。
- ・MBTIの視点から、個人の情報処理・認知、コミュニケーションの特性を理解する。

[授業計画と内容]

- (※変更の可能性があるので開講日に確認して下さい)
- 第1回 10月7日 疫学とEBMからの健康情報リテラシー入門（1）
 - 第2回 10月14日 疫学とEBMからの健康情報リテラシー入門（2）
 - 第3回 10月21日 患者視点の情報：Quality of life と Patient reported outcome
 - 第4回 11月4日 インターネットとe-ヘルス
 - 第5回 11月11日 質の高い医療情報の集約・共有・普及：根拠に基づく診療ガイドラインを考える
 - 第6回 11月25日 ナラティブ情報の意義と可能性
 - 第7回 12月2日 「がん」をめぐる患者・国民・医療者向け情報の整備
 - 第8回 12月9日 疫学情報と因果関係論
 - 第9回 12月16日 ベネフィットとリスクのコミュニケーション
 - 第10回 1月6日 ヘルス・リテラシーとリスク・コミュニケーション
 - 第11回 1月13日 代替医療とプラセボ：健康情報とコミュニケーションの視点から
 - 第12回 1月20日 パブリックヘルス・インフォマティクス
 - 第13回 1月26日 個人の情報処理・認知特性からコミュニケーションへ：MBTI(エムビーティーアイ：Myers-Briggs Type Indicator) セミオープンワークショップ 13時30分～17時30分

健康情報学 I (2)へ続く↓↓↓

健康情報学 I (2)

第14回 1月27日 個人の情報処理・認知特性からコミュニケーションへ：MBTI (エムビーティーアイ：Myers-Briggs Type Indicator) セミオープンワークショップ 9時～12時、13時～16時
第15回 2月3日 総合討論・個別発表 「健康情報学Iを履修して」

[履修要件]

疫学または根拠に基づく医療 (evidence-base medicine: EBM) の基礎知識を持つことが望ましいが、必須ではない。

[成績評価の方法・観点及び達成度]

毎回の小レポート提出80%、発表20%

[教科書]

講義資料は配布

[参考書等]

(参考書)

中山健夫著 『健康・医療の情報を読み解く：健康情報学への招待』 (丸善書店)
中山健夫監修 『ヘルスコミュニケーション実践ガイド』 (日本評論社)
中山健夫・杉森裕樹監訳 『FDA リスク&ベネフィットコミュニケーション』 (丸善書店)

[授業外学習 (予習・復習) 等]

予習よりも復習に十分時間を取ること

(その他 (オフィスアワー等))

情報とは「意思決定において不確実性を減じるもの」と定義されます。社会における健康・医療に関する情報の適切なあり方、そして個人の特性理解の視点から、情報のコミュニケーションについて考えてみたいと思います。

人間健康科学系専攻学生の受講可否： 可

※オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。